

平成23年度事業報告

公益財団法人千葉市国際交流協会

第1 事業の概要

平成23年度は、多文化共生マスタープランの開始年度であり、多文化共生社会の実現に向け各種事業を実施した。多文化理解推進事業として交流サロンの拡充を図ったほか、イベントなどを通じて多文化共生社会推進の啓発を行った。

市民活動支援事業として、ボランティアの登録・コーディネートを行うとともに、国際交流・国際協力活動をするボランティア団体、市民団体を支援した。

外国人市民支援事業として震災等に備えた外国人の防災訓練を初めて実施した。

また、公益財団法人への平成24年4月1日移行に向け、諸準備及び申請を行った。

第2 実施事業の内容

1 自主事業

(1) 多文化理解推進事業

ア 交流サロン

市民と外国人市民が気軽にふれあい、交流し、情報交換や国際化の理解を深めることができる場を多く設け、多文化理解の推進を図った。

内 容	開 催 日	テーマ 会 場	参加人数 (外国人数)
親子三代夏祭り	8月21日	親子三代夏祭りの「千葉おどり」参加 千葉銀座通り周辺	63人 (38人)
国際交流推進 スピーチ大会	10月 8日	発表者各自で自由設定 千葉市国際交流プラザ	170人 (61人)
多文化交流サロン	6月 4日	マリアッチの演奏によるメキシコ音楽と陽気で華やかなメキシカンダンス NPO法人あすみが丘国際交流との共催 土気あすみが丘プラザ体育館	350人 (25人)
	7月 7日	外国人と日本人の交流会	123人(44人)
	11月11日	7/7：七夕に因み茶話会形式にて交流	96人(38人)
	3月 2日	11/11：消防署職員からの防災講義、 タイ・韓国文化紹介等 3/2：ひな祭り・津軽三味線紹介、ポリネシア・ラテン音楽紹介等 各回 10:00～19:00 (入退室自由) 千葉市国際交流プラザ	102人(43人) 計 321人 (125人)
	7月14日	チリ及びモロッコの文化等の紹介	43人 (1人)
	8月23日	市内老人ホーム	45人 (1人)
	9月29日		30人 (1人) 計 118人 (3人)
	10月28日	ハロウィンパーティでのアメリカ文化の紹介 千葉市立都賀小学校	553人 (2人)
	11月11日	「開こう！世界のとびら」 千葉市立有吉小学校	136人 (4人)
	12月11日	千葉市外国人留学生交流員主催交流会 千葉市国際交流プラザ	70人 (35人)

2月 3日	節分の紹介及び「豆まき」体験 千葉市国際交流プラザ	36人 (16人)
2月17日	「国際理解教育授業 Let's Talk!」 千葉市立小中台小学校	141人 (5人)

イ 語学講座

国際理解の向上とボランティア活動のスキルアップを図るため、ボランティア及び賛助会員を対象に語学講座を実施した。

講座名	期間	受講時間数	講師	受講者
英語サロン（前期）	5月12日 ～7月28日	2時間×10日	国際交流員 エライア サミ	22人
英語サロン（後期①）	10月6日 ～1月12日	2時間×10日	国際交流員 中西-スタニス 慧理果	24人
英語サロン（後期②）	1月10日 ～3月15日	2時間×10日	国際交流員 中西-スタニス 慧理果	25人
続・ステップアップ中国語	5月11日 ～8月31日	2時間×15日	律 津 氏	10人

ウ 青少年交流（市補助）

姉妹都市における市民レベルでの交流を図り、次代を担う青少年がお互いの国の文化や歴史、生活等について理解を深めるため、青少年交流事業を実施した。受け入れに際しては、受入家庭のみならず、広く市民との交流ができるようなプログラムを組むことで市民の多文化理解の推進を図った。

内容	期間	参加者
ノースバンクーバー市 (42回目)	(受入) 震災の影響により中止 (派遣) 8月 1日～16日	高校生4人・引率者1人
ヒューストン市 (29回目)	(派遣) 8月14日～28日	中学生4人・引率者1人
モントルー市 (14回目)	(受入) 8月 4日～13日	青少年2人・引率者1人

エ 多文化共生推進啓発事業

市及び関係団体主催のイベントや協会のイベントにおいて、広く一般に多文化共生社会推進事業の説明や、関連する協会の国際交流ボランティア制度や活動紹介をすることで、協会事業に対する理解促進を図った。また、外国人留学生やボランティアの協力による外国文化体験や行政書士の協力による無料生活相談などを通して、外国人市民と日本人市民の相互理解促進を図るとともに、賛助会員やボランティアの拡充を図った。

イベント名称等	内容
美浜区民フェスティバル 10月2日 稲毛海浜公園	生活相談 56件 うち行政書士による無料相談 (14件) チリの民族衣装体験 パラグアイのお菓子紹介 (108個) ボランティア及び賛助会員募集資料の配布 (200部) PRティッシュの配布 (450個) 災害用品啓発用アルファ米の配布 (300食) 協会事業紹介

中央区ふるさとまつり 10月16日 中央公園	生活相談 44 件 うち行政書士による無料相談 (11 件) 中国及びチリの民族衣装体験 ボランティア及び賛助会員募集資料の配布 (400 部) PRティッシュの配布 (450 個) 災害用品啓発用アルファ米の配布 (200 食) 協会事業紹介
パラグアイ共和国独立 200 周年/ 千葉市制 90 周年記念コンサート 10月16日 市民会館	姉妹都市アスンシオン市があるパラグアイ共和国の楽器 「アルパ」を中心としたコンサートにて、協会PR及び賛助 会員の募集を行った。
ボランティアフェア2011 11月19日～12月1日 千葉市生涯学習センター	協会PR及びボランティア募集のパネル展示 ボランティア及び賛助会員募集のチラシの配布
留学生交流員主催交流会 12月11日 千葉市国際交流プラザ	イベントの合間に協会事業の紹介をし、賛助会員を募った。 災害用品啓発用アルファ米配布 (97 食)
千葉大学中国人留学生新年会 1月8日・1月22日 (春節) 千葉大学留学生寮ホール	イベントの合間に協会事業の紹介をし、賛助会員を募った。 協会パンフレット等の配布 (110 部)

(2) 市民活動支援事業

ア ボランティアコーディネート

市民が個々に有する能力を有効に活用し、地域に根ざした国際交流・国際協力事業の推進を図るため、通訳や日本語学習支援、ホストファミリー等のボランティアの登録・コーディネートを行った。

内 容	登 録 (件)	幹 旋 (件)
通訳	547	34
災害時語学	182	15
翻訳	393	52
ホームステイ	109	9
ホームビジット	204	26
文化紹介	202	9
日本語学習支援	988	366
学校派遣	128	7
国際交流支援	507	23
合 計	3,260	541

イ ボランティア研修

(ア) 日本語学習支援ボランティア講座

外国人市民に対し、日常生活に必要な日本語の学習を支援するボランティアの育成を図るための講座を実施した。

講 座	内 容	受講時間	開催数	講 師	受講者
入 門	これから日本語学習支援を始め るボランティアのための基礎的な 予備知識の習得	2時間×2日	4回	松本 明子氏 伊藤 三枝子氏	81人
養 成	具体的な日本語学習支援の方法 を学ぶボランティアのための講座	3時間×16日	1回	松本 明子氏	26人

(イ) 日本語学習支援ボランティア意見交換会

個々のボランティアの活動に資するため、外部講師による講座とボランティア同士の情報や意見の交換を実施した。

内 容	開 催 日	講 師	参加者
外国人住民の立場から考えた 望ましいボランティア	3月6日	全国市町村国際文化研修所 時光氏	22人

(ウ) ボランティアガイダンス

ボランティアの新規登録者の拡大を図るため、説明会を開催した。

内 容	開 催 日	参加者
・外国人市民の現状説明と協会ボランティア制度の概要説明 ・ボランティア体験談の紹介（3人）	3月2日	28人

ウ 国際交流・国際協力団体活動助成（市補助）

市内のボランティア団体による在住外国人支援活動・国際交流・国際協力の促進を図るため、事業に要する経費の一部を助成した。在住外国人支援、地域での多文化理解推進に資する活動を優先的に助成した。

内 容	助成団体数
民間ボランティア団体の自主的な国際交流・国際協力活動の促進を図るため、市民団体の活動事業に要する経費の一部について助成	12団体

エ ちば市国際ふれあいフェスティバル支援

外国人市民と日本人市民の交流の場を創出するとともに、参加団体相互の連携を図るために開催される「ちば市国際ふれあいフェスティバル」において、当協会は事務局として支援を行った。

内 容	開 催 日	場 所	参加団体	来場者
ステージ発表、 パネル展示による活動紹介、 バザー等	2月19日	きぼーる	国際交流団体 33団体 384人	1,800人

オ 日本語教室ネットワーク

市内の日本語教室27か所を協会のホームページに掲載し紹介する等、ネットワーク化により利用者の利便を図った。

内 容	各区活動把握団体数
日本語教室を実施している団体	中央区：7 花見川区：3 稲毛区：5 緑区：2 美浜区：10 若葉区：0 計27団体

(3) 外国人市民支援事業

ア 外国人生活相談

外国人市民に対し、言語や習慣の違いから生じる日常生活の問題を解決するための窓口を設け、相談の受付及び情報提供を行った。また、電話の三者間通話機能を利用した電話通訳サービスや市役所コールセンターへの多言語対応等の協力を行った。

内 容	言 語	方 法	備 考
外国人市民に対する相談	英語、中国語、韓国語、 スペイン語等	協会窓口、電話、 Eメール等	件数については、国際交流 プラザ（受託事業）に記載

イ 外国人法律相談

外国人市民が直面する法律的問題を解決するため、千葉県弁護士会の協力により無料法律相談を実施した。

内 容	回 数	会 場	相 談 者
日常生活に関する法律相談	12回	国際交流プラザ会議室	30人（11か国）

ウ 留学生学習奨励（市補助）

市内大学に通う本市在住の私費留学生の学習支援及び、多文化共生社会の実現に寄与する留学生社会のキーパーソンの育成を目的に、留学生交流事業を実施した。

内 容	対 象	交 付 先
外国人留学生交流員 （交流員の任命及び 奨学金7万5千円の支給）	市内在住・在学の私費留学生 （大学から推薦を受けた者）	市内4大学 4人 （国籍：台湾、ベトナム、 ネパール、中国）

エ 災害時における外国人市民支援

(ア) 「外国人のための防災訓練～助かるために、助けるために～」の実施

防災訓練の経験がほとんどない外国人が、震災等の災害時に対応できるようにするため、（公財）千葉市防災普及公社及び中央区役所との協働で防災訓練を実施した。

内 容	開 催 日	場 所	参加人数
防災対策講義、避難訓練、心肺蘇生法及び AED訓練、水消火器の訓練、起震車及び煙 体験 訓練後、参加者による意見交換会を行い、 訓練の内容をより深く理解してもらい、併せ て非常食（アルファ米）の試食を通じ、食料 備蓄の重要性を訴えた。 災害時語学ボランティア等にも参加を要請 し、この防災訓練における通訳だけでなく、 災害時における円滑な活動ができるよう参加 してもらった。	1月18日	中央区役所会議室及び 同公用車駐車場 千葉市国際交流プラザ	63人 （うち外国人 41人）

(イ) 各種防災訓練への参加

名 称	開 催 日	場 所	参加人数
第32回九都県市合同防災訓練	8月28日	千葉市立有吉中学校	20人 （うち外国人10人）
千葉中央ツインビル 総合防火・防災訓練	3月1日	千葉中央ツインビル 千葉中央公園	25人 （うち外国人13人）

(ウ) 多言語翻訳シミュレーションへの参加

内 容	開 催 日
災害時に関東地域国際化協会と連携を図ることを目的に締結した「災害時における外国人支援ネットワークに関する協定」に基づき、実際の災害時に連携がとれるよう「多言語翻訳シミュレーション」（他協会と連携し災害時における翻訳訓練）を実施した。	9月13日～16日

(エ) 東日本大震災復興イベントへの参加

名 称	開 催 日	場 所	内 容
『東日本大震災から1年 3.11を忘れない！ “復興と防災”』	3月11日	千葉 中央公園	・協会主催の「外国人のための防災訓練」の紹介 ・災害時語学ボランティアによる外国人への防災意識の啓発 ・災害時に備える食料備蓄の呼びかけ

オ 外国人児童支援 (CLAIR 補助)

地域の人的資源を生かして、小中学校に通う外国人児童の支援体制の構築をめざし、千葉大学新倉涼子教授の協力のもと千葉市及び千葉市教育委員会とも連携し、千葉市立鶴沢小学校及び同校卒業生の通う千葉市立葛城中学校で実施した。

内 容	対 象	期 間
日本語指導及び教科指導	児童 5 人、生徒 2 人	4 月 1 日～2 月 2 9 日

(4) 情報収集・提供事業

ア ホームページ運営

協会の活動内容や外国人市民の生活に必要な情報等について、インターネットを通じて幅広く発信した。ブログを活用し、情報の提供頻度・量の充実を図り、特に、震災の混乱時にやさしい日本語を中心とした計画停電や水道水の汚染状況の情報を常時、提供した。

内 容	時 期	対 象
協会事業、生活情報、イベント情報等を提供 (日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語)	随時更新	市民、外国人市民等

イ 協会情報誌「ふれあい」(日本語) 発行

協会事業の案内及び報告、国際交流・理解等に関する知識及び意識の向上を図るため、市民向けに日本語情報誌を発行した。

内 容	発 行	部 数	配布先等
「ふれあい」発行 6 8～7 1 号(6 ページ)	6 月、9 月、12 月、3 月 (年 4 回)	各 3,000 部	賛助会員、市内公共施設、 ホームページへの掲載等

ウ 千葉市生活情報誌発行

外国人市民に対し、市民生活に密着した生活情報である市政だより等の有益な情報を外国語に翻訳し、ホームページや各区外国人登録窓口、日本語教室等を通して、提供した。

内 容	部 数	発 行	配布先等
英語	1 0 0 部/月	月 1 回	各区窓口、日本語教室、市内大 学、ホームページへの掲載等
中国語	1 5 0 部/月		
やさしい日本語	1 0 0 部/月		

エ 情報ラウンジ

外国語の雑誌・新聞や国際交流・国際協力に関する図書等を整備するとともに、情報コーナーにおいて、協会の多文化共生促進活動やボランティア活動などについての情報提供、また市民間の情報交換用ボードを設置するなど外国人市民と日本人市民の交流の場を提供した。また、インターネットコーナーにおいて引き続きパソコンを設置し、自由に情報収集できる場の提供を行った。

内 容	時 期	場 所
国際交流・国際協力などに関する関係図書等の整備 (定期購読紙 8 種)	通年	国際交流プラザ情報ラウンジ
ふれあいボード (市民間情報交換用掲示板)		
情報収集用パソコン		

2 受託事業

(1) 千葉市から委託を受けた国際交流事業の実施

ア 千葉市国際交流プラザ運営業務

国際交流や外国人市民に対する相談、情報の提供などの場である「千葉市国際交流プラザ」の運営業務を受託した。

施設利用状況 開館日数 296日

	会議室	国際交流ラウンジ			合計	
		日本語学習支援	外国人相談	インターネットコーナー		
件数	566	4,913	1,555 (窓口: 1,032)	121	6,589	7,155
人数	7,482	10,784	1,463 (窓口: 965)	121	12,368	19,850

イ 地域連携コーディネーター事業

国の「ふるさと雇用再生特別交付金事業」に基づき千葉市が実施する事業を受託した。平成21年8月より非常勤嘱託職員として採用した地域連携コーディネーター（中国からの帰化者）を引き続き雇用し、地域と連携した外国人市民支援事業に関する事業を実施した。

内容	場所
中国人集住地域での市職員への研修 (中国文化・中国人の気質・中国語など)	美浜区内保育所
乳幼児健診での通訳補助	市内保健センター等
市営住宅入居説明会での通訳及び千葉市在住に関するアドバイス	千葉市住宅供給公社
外国人のための団地生活・防災オリエンテーションにおけるアドバイス及び講師	千葉幸町団地 (UR団地)
外国人のための防災訓練におけるコーディネート及び通訳	中央区役所及び国際交流プラザ
外国人法律相談 (協会事業) における通訳	国際交流プラザ

第3 賛助会員(平成24年3月31日現在)

22年度より会員期間を変更し、入会し易くしたが、東日本大震災の影響により、市内の外国人登録者数が減少したことや、災害支援等へ市民の目が向いたことで前年度に比べ個人会員が減少した。一方、法人会員は、HPでの法人会員へのリンク掲載等の特典の利用が増え、わずかに増加した。

区分	合計	内訳1(日本人・外国人)		内訳2(一般・学生)		内訳3(金額)	
個人	629人	日本人	500人	一般	498人	2,000円以上	498人
				学生	2人	1,000円	2人
		外国人	129人	一般	82人	2,000円	0人
						1,000円	35人
				学生	47人	1,000円	44人
						2,000円	3人
法人・団体	86団体	(1口10,000円以上)					